

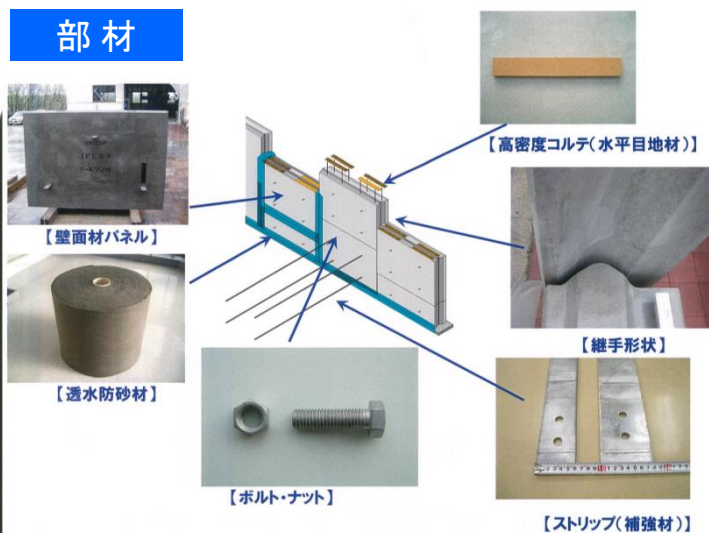
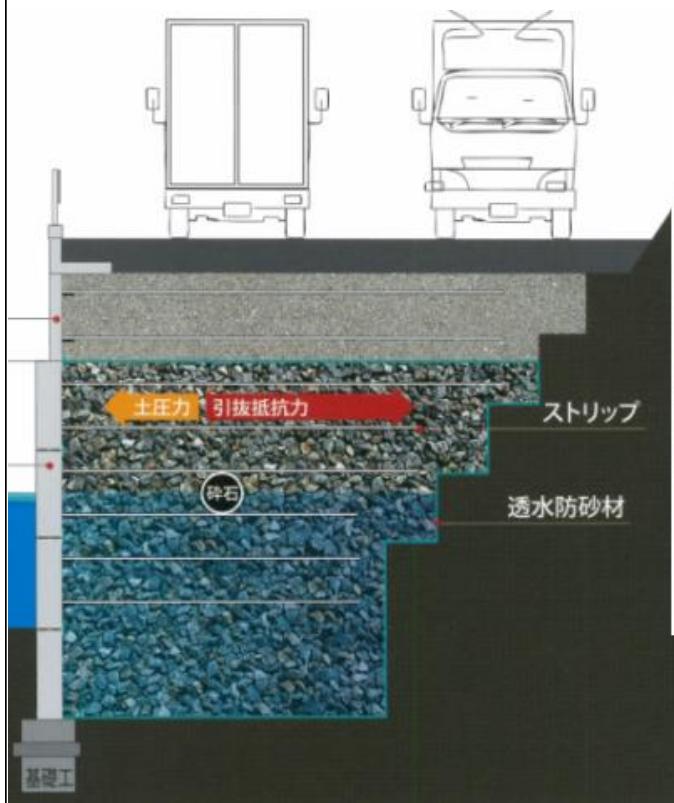
技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	☒ 安全・防災 ☐ 維持管理 ☐ 環境 ☐ コスト ☐ ICT ☐ 品質 （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	アクアテール35	担当部署	九州事業部
NETIS登録番号	CG-100020-VR	担当者	紺田 具視
社名等	J F E 商事テールワン(株)	電話番号	092-283-0272
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 道路や造成工事の河川隣接部における流水の影響を受ける箇所において、従来用いられていた現場打ち擁壁工法をプレキャスト製品の補強土に置き換えることにより工期の短縮を担う。止水期間が短縮となり、工事中の河川への影響(水質汚濁)を軽減できる。 また、擁壁背面から施工することにより、足場工が不要となり施工の安全性を高めている。 2. 技術の内容 河川を含む流水域の護岸擁壁に適用する水中仕様の補強土壁工法。護岸ブロックと同等の壁厚(t=35cm)にすることで漂流物の衝突や摩擦に対する抵抗力が飛躍的に向上した。 壁面がプレキャスト化であり品質管理が高く、短時間での施工を可能としている。 補強土壁の災害への対応力は高く、強化復旧により一層の防災・減災を図ることができる。 3. 技術の効果 河川で従来用いられてきた現場打ち擁壁工をプレキャスト製品の補強土壁工にする事により、躯体工と盛土工の同時施工が可能で、従来工法と比べて施工日数が短縮できる。 大規模な仮設工が不要となり、壁面がプレキャスト製品である事から現場廃材の発生を抑制できる。 現場打ち壁面ち擁壁と比べて、大幅な工期短縮とトータルコスト削減を実現。 4. 技術の適用範囲 道路工事(新設・拡幅)・砂防工事・ダム工事・その他造成工事など。 河川流域でコンクリート壁面材の搬入が可能な所、塩害対策が必要な所に適用。 5. 活用実績 国の機関 13 件（九州 0件 、九州以外 13件 ） 自治体 56 件（九州 16件 、九州以外 40件 ） 民 間 3 件（九州 0件 、九州以外 3件 ）		

6. 写真・図・表

アクアテール35 断面図



アクアテール35の施工方法

